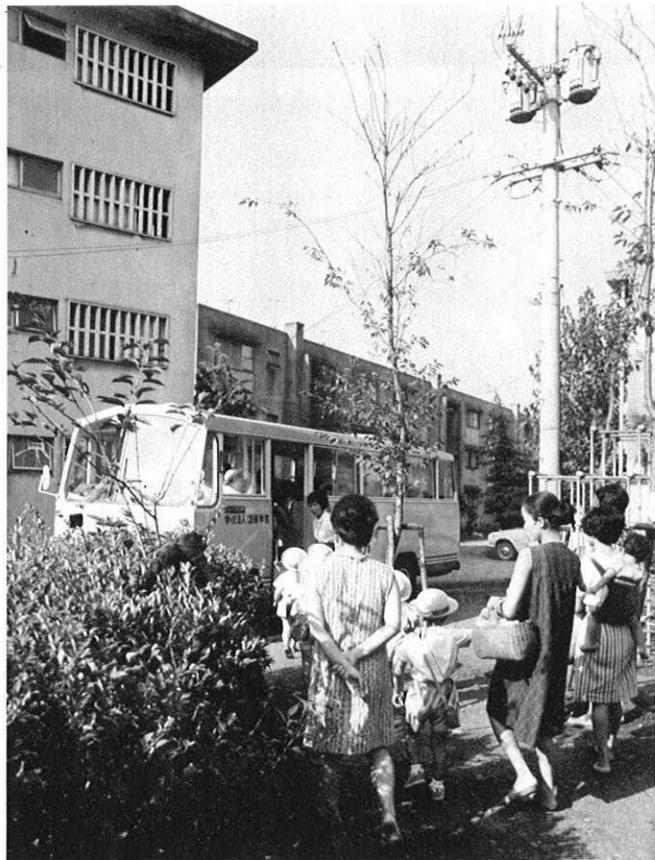


生まれかわる公営住宅



▲幼稚園の通園バスが団地の園児を送り迎えている。
(県営堀の内団地-熊本市)

戦後の公営住宅建設の姿をみると、時代の流れとともに驚くほどその施設の内容も環境もかわってきている。特に団地の規模は大型化し、公共施設や緑地帯・遊園地などの充実はめざましい。



▲公営住宅の台所もこんなに明るくなった。

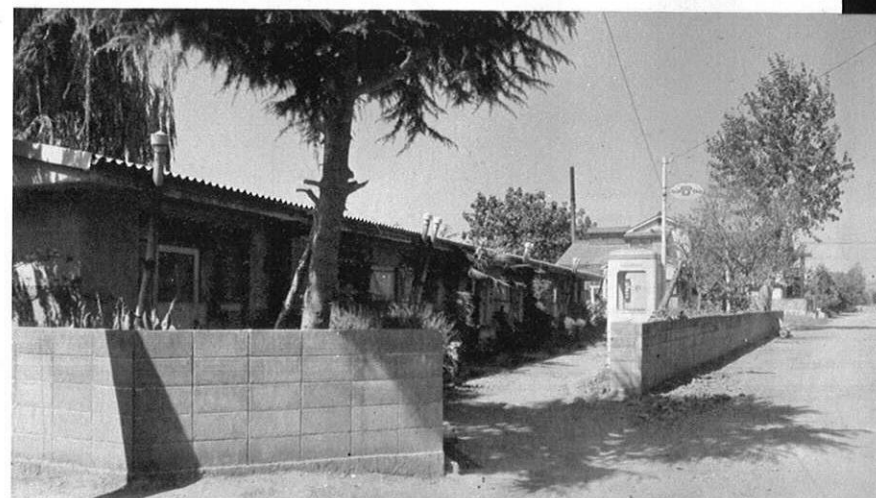


▲せまいながらも庭づくりの計画はみんなの楽しみだ。



▲公営住宅も近代的建物になった

◀初期の公営住宅
(昭和28年の県営住宅)



▲母子家族のための母子住宅も…(熊本市内)



▲団地生活はますます便利になっていく。郵便局やストアや診療所などの施設もできつつある。